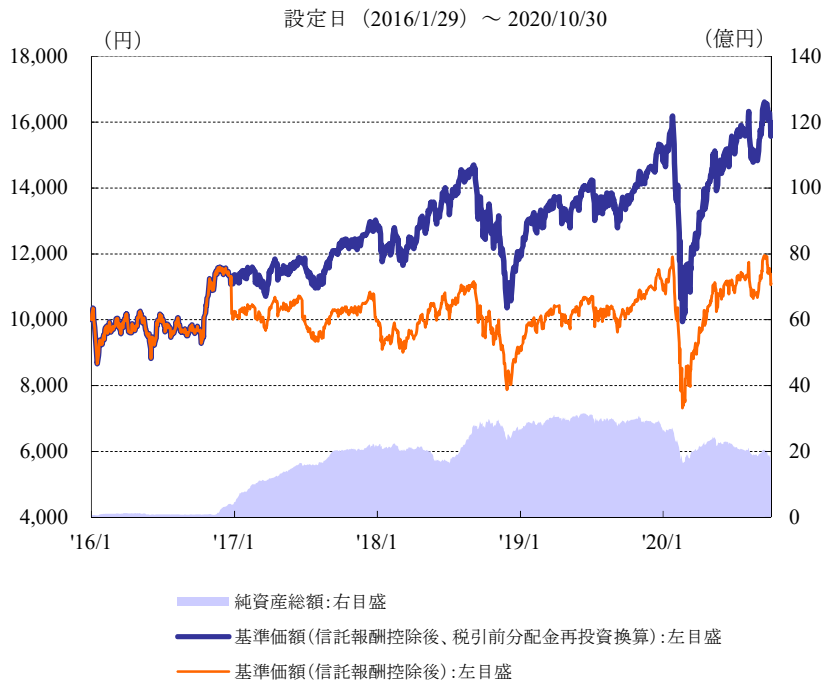


米国イノベーション・ファンド(年4回決算型)の運用実績

◆基準価額・純資産総額の推移



◆基準価額・純資産総額

基準価額	11,093円
純資産総額	17.4億円

◆基準価額騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	0.9%
3ヵ月	2.0%
6ヵ月	17.8%
1年	13.9%
3年	27.5%
5年	-
設定来	56.1%

※基準価額推移のグラフにおける基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算)およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります ※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

◆分配金推移

決算	分配金
第14期('19/7)	100円
第15期('19/10)	0円
第16期('20/1)	250円
第17期('20/4)	0円
第18期('20/7)	250円
第19期('20/10)	150円
設定来	3,650円

※分配金は1万口あたりの金額(税引前)
※決算は、毎年1月、4月、7月、10月の20日です(休業日の場合は翌営業日)
※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

<ご参考> 基準価額の月間騰落要因分析

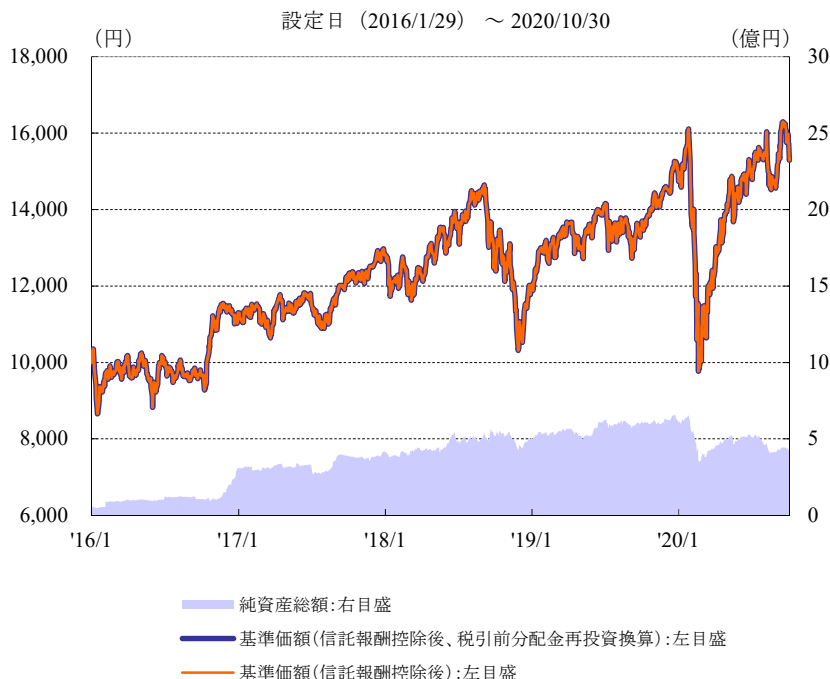
要因項目	2020年10月	設定来
基準価額騰落額	-39円	+1,093円
分配金	-150円	-3,650円
株式要因	+267円	+7,210円
為替要因	-135円	-1,391円
信託報酬等	-22円	-1,076円

※基準価額の月間騰落要因分析は、基準価額の騰落額を一定の条件をもとに試算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

米国イノベーション・ファンド(年1回決算型)の運用実績

◆基準価額・純資産総額の推移



◆基準価額・純資産総額

基準価額	15,325円
純資産総額	4.1億円

◆基準価額騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	0.9%
3ヵ月	1.9%
6ヵ月	17.6%
1年	12.4%
3年	25.9%
5年	-
設定来	53.3%

※基準価額推移のグラフにおける基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算)およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります
 ※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

◆分配金推移

決算	分配金
第1期('17/1)	0円
第2期('18/1)	0円
第3期('19/1)	0円
第4期('20/1)	0円
設定来	0円

※分配金は1万口あたりの金額(税引前)
 ※決算は、毎年1月20日です(休業日の場合は翌営業日)
 ※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

<ご参考> 基準価額の月間騰落要因分析

要因項目	2020年10月	設定来
基準価額騰落額	+141円	+5,325円
分配金	0円	0円
株式要因	+384円	+8,504円
為替要因	-214円	-1,870円
信託報酬等	-30円	-1,309円

※基準価額の月間騰落要因分析は、基準価額の騰落額を一定の条件をもとに試算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

資産内容（米国イノベーション・マザーファンド）

◆資産別構成

組入資産	比率
株式等	95.7%
短期金融商品等	4.3%
合計	100.0%

※比率は純資産総額対比

※比率の合計は100%にならない場合があります

◆業種別組入比率（上位10業種）

	業種	比率
1	ソフトウェア・サービス	24.5%
2	医薬品・バイオ・ライフサイエンス	16.7%
3	資本財	13.1%
4	ヘルスケア機器・サービス	10.6%
5	半導体・同製造装置	7.4%
6	消費者サービス	6.0%
7	食品・飲料・タバコ	3.8%
8	小売	2.9%
9	商業・専門サービス	2.8%
10	各種金融	2.5%

※比率は純資産総額対比

※業種は世界産業分類基準（GICS）

◆組入上位銘柄

組入銘柄数 59 銘柄

	銘柄	国名	業種	会社概要	組入比率
1	HORIZON THERAPEUTICS PLC (ホライゾン・セラピューティクス)	アイルランド	医薬品・バイオ・ライフサイエンス	関節リウマチ治療薬や尿素サイクル異常症治療薬をはじめ、関節炎、疼痛、炎症性疾患向けの治療薬を開発	4.7%
2	RINGCENTRAL INC-CLASS A (リングセントラル)	アメリカ	ソフトウェア・サービス	スマートフォン等のデバイスでテレビ会議や電話機能が使えるクラウド・ベースのソフトウェアを提供	4.6%
3	HALOZYME THERAPEUTICS INC (ハロザイム・セラピューティクス)	アメリカ	医薬品・バイオ・ライフサイエンス	細胞への薬剤輸送を改善する医薬品を開発するバイオ医薬品企業	3.7%
4	EXACT SCIENCES CORP (イグザクト・サイエンシズ)	アメリカ	医薬品・バイオ・ライフサイエンス	便中から大腸がんに関与する遺伝子を検出し、がんの早期発見につながる検査キットを販売	3.2%
5	DOCUSIGN INC (ドキュサイン)	アメリカ	ソフトウェア・サービス	契約書等に電子署名を行うソフトウェアを開発	2.8%
6	NEUROCRINE BIOSCIENCES INC (ニューロクライン・バイオサイエンシズ)	アメリカ	医薬品・バイオ・ライフサイエンス	神経性精神病、神経性炎症、神経変性等の疾患を治療する医薬品を開発	2.4%
7	BLACK KNIGHT INC (ブラック・ナイト)	アメリカ	ソフトウェア・サービス	住宅ローン関連業務の自動化ソフトウェアを開発	2.3%
8	LHC GROUP INC (エルエイチシーグループ)	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	米国南部農村地域で在宅看護サービスや外来リハビリ施設での看護サービスを提供	2.3%
9	DYNATRACE INC (ダイナトレース)	アメリカ	ソフトウェア・サービス	AIを中核とした技術により、様々な業界向けにソフトウェア・プラットフォームを開発	2.3%
10	COUPA SOFTWARE INC (クーパ・ソフトウェア)	アメリカ	ソフトウェア・サービス	企業の費用削減を実現する経費管理ソフトウェアをクラウド・ベースで提供	2.3%

※組入比率は純資産総額対比

※業種は世界産業分類基準（GICS）

※会社概要はビクトリー・キャピタル・マネジメント・インク提供データより作成

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書（交付目論見書）は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します（外貨建資産には為替変動による影響もあります）ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

マーケットコメント(米国イノベーション・マザーファンド)

【市場環境】

10月の米国株式市場は大型株中心に下落したものの、中小型株市場は上昇となりました。上旬は、トランプ米大統領が新型コロナウイルスに感染し入院したことで不安定な相場となりましたが、大統領が早期に退院すると警戒感は収まり、追加経済対策の協議の進展に対する期待から大きく上昇しました。中旬は、大手金融株が軟調な動きとなる一方、景気敏感株が選好される動きも見られ、株式市場全体は方向感のない展開となりました。下旬には、米大統領選挙を控え様子見ムードとなる中、月末にかけ追加経済対策の協議の行き詰まりから下落しました。最終的にS&P500指数(配当込み)は下落し、Russell 2500 Growth指数(配当込み)は上昇しました。

【運用状況】

基準価額は、前月末比+1.1%上昇しました。同期間に約▲1.1%の円高・米ドル安となった為替は、マイナスに作用しました。具体的には、スライブ・アーリアー・ディテクションの買収を発表したイグザクト・サイエンシズが上昇しました。一方、一株当たり利益予想が市場予想に届かなかった製薬会社のリガンド・ファーマシューティカルズが下落しました。

10月は、新たにAPI(プログラムを共有する為の仕組み)ビジネスを立ち上げ今後の成長性が見込まれるドルビーラボラトリーズなど、計2銘柄を新規に組み入れました。一方、コールセンター業務がひっ迫し、顧客サービスの質の低下が問題となっているフロントドアなど、計2銘柄を売却しました。

【見通しと方針】

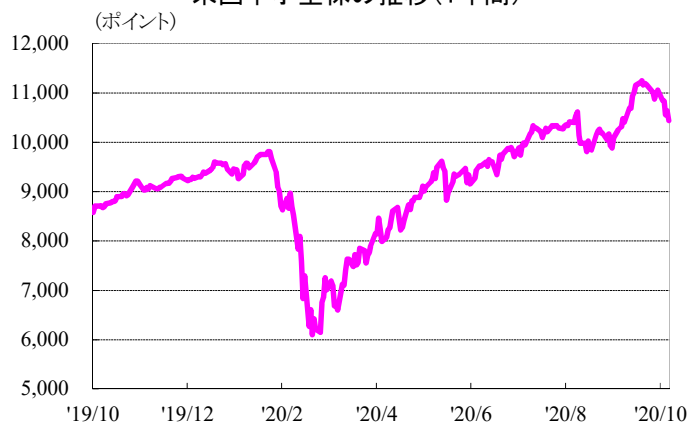
米国株式市場は11月3日の米大統領選挙の投票日以降、11月7日までの間、10月末に売られた大型ハイテク株を中心にグロス株が急反発しました。米議会が「ねじれ」になる見込みとなったことで、バイデン氏が公約していた増税案や、ハイテク企業や金融機関に対する規制強化策も成立し難いとの見方が広まった為です。これにより、「ブルーウェーブ」(青色は米民主党のシンボルカラー)を見越して買われていたインフラ関連株、再生エネルギー株などの巻き戻しの売りが起こる一方で、利益確定売りに押されていたグロス株へ再び資金が戻ってきています。

しかし市場のこうした動きは憶測に基づいたものに過ぎず、油断は禁物と考えています。法廷闘争になった2000年の米大統領選挙時のように、最終決着にはまだ時間を要すると想定され、株価もその動向に左右されるでしょう。いずれにせよ米国の大統領が誰になったとしても中長期的に株式市場にとっては影響がない、という当ファンドの考えはこれまで通り全く変わりません。ボラティリティ(価格変動性)の高まりは魅力的な銘柄を割安で買えるチャンスと捉え、高成長ストーリーが描ける小型企業に投資をしていく方針です。

※当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくはファンドの運用方針等について、運用担当者(ファンドマネジャー他)の見方あるいは考え方を記載したもので当該運用方針は変更される場合があり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、将来の運用成果等を約束するものでもありません ※ビクトリー・キャピタル・マネジメント・インク提供データより作成

《ご参考》

米国中小型株の推移(1年間)



出所: Bloomberg

米ドル(対円)の推移(1年間)



※米ドル(対円)は投資信託協会発表の為替を使用

※上記グラフは過去の実績であり、将来のファンドの運用成果等を約束するものではありません ※「米国中小型株」は、ラッセル2500グロス指数(配当込み) ※ラッセル2500グロス指数(配当込み)は当ファンドのベンチマークではありません

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ファンドの目的

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の中小型株に投資することにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

ファンドの特色

- 米国の中小型株を主要投資対象とし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
 - 主に米国の金融商品取引所に上場されている中小型株に実質的に投資します。
 - ボトムアップアプローチによる企業調査や業界分析などから、革新的な技術やビジネスモデルを有し、高い成長が期待できる銘柄を厳選して投資します。
 - 原則として、為替ヘッジを行いません。
 - 当ファンドは、「米国イノベーション・マザーファンド」を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
- マザーファンドにおける運用指図にかかる権限を、ビクトリー・キャピタル・マネジメント・インクへ委託します。
- 「年4回決算型」と「年1回決算型」からお選びいただけます。
 - [年4回決算型]
 - 毎年1月、4月、7月、10月の20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として分配を目指します。
 - [年1回決算型]
 - 毎年1月20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配金額を決定します。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※資金動向、市況動向等によっては、あるいはやむを得ない事情が発生した場合等には、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク (詳しくは最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください)

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。
 - 株価変動に伴うリスク
 - 為替リスク
 - 流動性リスク
 - 信用リスク
 - カントリーリスク

分配金に関する留意事項

- 分配金は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。ただし、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ファンドの費用 (詳しくは最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください)

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料 購入価額に3.3%(税抜き3.0%)を上限として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。購入時手数料は販売会社によるファンドの募集・販売の取扱い事務等の対価です。
- 信託財産留保額 ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用(信託報酬) ファンドの純資産総額に年2.25%(税抜き2.05%)の率を乗じた額とします。運用管理費用(信託報酬)は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、年4回決算型は毎計算期末または信託終了のときに、年1回決算型は毎計算期間の最初の6ヵ月終了日と毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。
<運用管理費用(信託報酬)の配分(税抜き)>

支払先	料率	役務の内容
委託会社	年1.25%	ファンドの運用およびそれに伴う調査、受託会社への指図、基準価額の算出、法定書面等の作成等の対価
販売会社	年0.75%	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
受託会社	年0.05%	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価

※上記の配分には別途消費税等相当額がかかります。

※委託会社の報酬には、米国イノベーション・マザーファンドの運用指図に関する権限の委託先への報酬(当該マザーファンドの組入評価額に対して年0.90%以内)が含まれております。

- その他の費用・手数料 以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
 - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
 - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
 - 資産を外国で保管する場合の費用 等
 ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
 ※監査費用の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

お申込みメモ (詳しくは最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください)

- 信託期間 2026年1月20日まで(2016年1月29日設定)
- 購入単位 お申込みの販売会社にお問い合わせください。
- 購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金単位 お申込みの販売会社にお問い合わせください。
- 換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金代金 原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
- 申込不可日 以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。
 - ニューヨーク証券取引所の休業日
 - ニューヨークの銀行の休業日
- 決算日 [年4回決算型] 毎年1月、4月、7月、10月の20日(休業日の場合は翌営業日)
[年1回決算型] 毎年1月20日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 [年4回決算型] 年4回決算を行い、分配方針に基づき分配を行います。(委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。)
[年1回決算型] 年1回決算を行い、分配方針に基づき分配金額を決定します。(委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。)

(共通)

分配金受取りコース:原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース:原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。
※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

投資信託に関する留意点

- 投資信託をご購入の際は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください。
投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の本支店等にご用意しております。
- 投資信託は、元本保証、利回り保証のいずれもありません。
- 投資した資産の価値が投資元本を割り込むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うことになります。
- 投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

委託会社およびその他の関係法人

■委託会社(ファンドの運用の指図を行う者)

三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号
加入協会 / 一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

■受託会社(ファンドの財産の保管および管理を行う者)

株式会社りそな銀行

■販売会社

取扱販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
今村証券株式会社(※1)	金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第3号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
香川証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長(金商)第3号	○			
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第7号	○		○	
株式会社埼玉りそな銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第593号	○		○	
内藤証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第24号	○			○
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
株式会社りそな銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第3号	○	○	○	

(※1)年4回決算型のみのお取り扱いとなります。

(50音順)

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等にご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。